

令和元年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰

【個人】

(敬称略)

被表彰者	主な功績
ねもと よしあき 根元 義章 東北大学 名誉教授	多年にわたり情報通信技術の利活用による地域の活性化に資する産学官連携の取組を主導するとともに、東北情報通信懇談会の運営委員長としてその運営に尽力するなど、東北地域における情報通信の普及発展と産学官連携の推進に多大な貢献をされました。

【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
岩手県 (知事 たっそ たくや 達増 拓也)	いち早く情報通信基盤整備のための体制を整え、地域情報化に取り組み県民に対して最新の ICT 技術に触れる機会や知識の提供を継続的に行うとともに「地域課題解決マッチング会」に全面的な協力をするなど、地域 ICT/IoT 実装の推進に多大な貢献をされました。
ふくしま未来農業協同組合 (代表理事組合長 かの たかし 菅野 孝志)	環境中の微量なエネルギーを電力に変換する「エネルギーハーベスティング」という技術を用いた電源工事不要の圃場センシングによって、生産管理を行うシステムを業界で初めて導入し、農業生産性の向上を図るなど、ICT 技術の活用による地域の活性化に多大な貢献をされました。
南会津町 (町長 おおや そうきち 大宅 宗吉)	広大な面積を持つ町内に点在する水道施設の多様な監視・管理をクラウドシステムの導入によって効率化することにより、ICT技術を活用した住民サービスの向上に多大な貢献をされました。
湯沢市 (市長 すずき としお 鈴木 俊夫)	リアルタイム屋外監視システムの構築により農業生産性の向上と新規就農者の拡大を図るとともに、遊休スペースにシェアリングエコノミーサービスを導入するなど、地域 IoT 実装に取り組み地域情報化の推進に多大な貢献をされました。

「電波の日・情報通信月間」の概要

1. 「電波の日」とは

昭和25年6月1日は、電波法及び放送法が施行され、電波が広く国民の皆様に利用していただけるようになった日です。

「電波の日」は、これを記念して国民の電波に関する知識の普及・向上と、電波利用の発展に役立つように制定されたものであり、今年で69回目となります。

2. 「情報通信月間」とは

情報通信月間は、毎年5月15日から6月15日までの間、情報通信の普及・振興を図ることを目的として昭和60年に設けられ、今年で35回目となります。

期間中は、豊かで安心して暮らせる社会を築いていく上で大きな役割を果たす情報通信について、国民の皆様のご理解を深めていただくため、全国各地で様々な行事が開催されています。

今年度は、ICTをより上手く活用することにより、人や地域の未来のためにやさしい社会の実現を目指していくため、“ICTで 人と地域の未来につながる やさしい社会へ”をテーマに、東北管内でも各種セミナーや講演会など多彩な行事が取り組まれています。

3. 「東北電気通信協力会」とは

東北電気通信協力会は、通信・放送事業者をはじめとする情報通信関係の皆様が会員となり昭和42年に設立されました。

「電波の日・情報通信月間」記念式典の開催等、情報通信に関する各種の行事に参画し、東北における情報通信の普及・発展に寄与しています。

表彰状

南会津町 殿

あなたがたは広大な面積を持つ町内に点在する
水道施設の多様な監視・管理をクラウド
システムの導入によって効率化することにより
ICT技術を活用した住民サービスの向上に
多大な貢献をされました
その功績は誠に顕著でありますので
情報通信月間に当たり表彰します

令和元年 六月一日

東北総合通信局長

田中

宏

